

目 次

論 文

凌叔華と 1959 年日本を歩く 「重遊日本記」	星野 幸代	1
「やまとうた」と「からうた」 古今和歌集の序文から見る	胡 潔	9
国号に見る「日本」の自己意識	前野 みち子	27
ウィーンのジャポニスム（後編） パリとの比較を中心に	西川 智之	63
マックス・ダウテンダイと歌舞伎 『アジアの劇場を模範とした「造形舞台」』	大庭 正春	83
身体知の実践と継承 いまこそ「職人の叡智」に学ぶべきとき	柴田 庄一	95
国際化時代の日本語作家たち	涌井 隆	115